

# 7月 保育所だより

令和6年6月28日  
桑折町醸芳保育所

木々の緑が目にしみる季節となりました。保護者の皆様には日頃より保育所運営にご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

6月12日～20日の期間、4日間にわたって実施した親子運動教室・親子触れ合い教室並びに給食試食会に、お忙しい中ご参加頂き誠にありがとうございました。さくら・ひまわり組はクラス毎、ゆり・すみれ・ちゅうりっぷ・たまご組は2クラスずつの実施ではありましたが、保護者様の出席率は100%（登所した子ども対象）でした。今回の行事のように、保護者の皆様に保育所にお出でいただき、長時間子どもたちの様子をご覧いただくことは、実に4年ぶりでした。そのため、何かと不行き届きの点があったことと思いますが、4年ぶりの開催と言うことでお許しいただきたいと思います。親子運動・触れ合い教室と給食試食会を通して、保護者の皆様には子どもたちの保育所生活の一部をご覧頂けたかと思えます。保育所としましては、こういった行事によって保護者の皆様の「安心」に繋がれば幸いです。11月には、家庭教育学級と降所保育参観を計画しておりますので、是非ご参加下さい。

さて、福島県の梅雨入りが、6月下旬になりようやく発表されました。これから先、蒸し暑い日が続いてくるため、体調を崩しやすい時期となってまいります。保護者の皆様には子どもたちの体調管理へのご協力、引き続きよろしくお願いいたします。

## <今月の保育の目標>

### 0歳児

- 水分や休息を十分に取りながら、健康に気を付けて過ごす。
- 水遊びやシャボン玉遊びなど、夏ならではの遊びを楽しむ。

### 1歳児

- 梅雨の時期の健康に留意し、快適に過ごす。
- 身の回りのことに興味を持ち、保育者と一緒に少しずつやってみようとする。
- 水、泥、砂などに触れ、夏の遊びを楽しむ。

### 2歳児

- 十分な休息をとりながら、暑い夏を健康、快適に過ごす。
- プールや水遊び、泥んこ遊びなど、夏ならではの遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。
- 保育者と一緒に衣服の着脱をしたり、自分でできるところはやってみようとしたりする。



## <7月の行事予定>



### <8月の主な予定>

- 2日 スイカ割り
- 22日 誕生会
- 23日 避難訓練
- 29日 保育所夏祭り

今月の合同保育室も、ちゅうりっぷ組です。



## < 保育所からのお知らせ・お願い >

### 【プール・水遊び】

プール・水遊びを実施するかどうかは、気温や天候を見て保育所が判断します。服薬や、皮膚症状等お子さんの体調から、水遊びができないと判断した日は、その旨を連絡帳に記載してください。

### 【毛布と上履き】

午睡用毛布と上履きを持ち帰ります。（既に持ち帰ったクラスもあります。）夏場は使用しませんので、自宅で保管してください。冬に使用する際、またお知らせします。

## < 土曜保育の利用について >

土曜保育を希望する場合は、木曜日までにその旨を連絡帳に記載してください。希望人数により職員の人数及び勤務時間を確定しますので、必ず木曜日までにお知らせください。

また、土曜保育が利用できるのは、①または②に該当する場合です。

- ① 父母ともに就労証明書に土曜日勤務が明記されている
- ② 冠婚葬祭・学校行事等家庭の事情で保育できない場合

## < クラスよい >

### たまご組

先日は保育参観においでいただきありがとうございました。いつもと違う雰囲気なので、泣いてしまうのでは…と心配していましたが、パパやママなどお家の方が一緒だったことに安心し、それほど泣くことなく活動できたので良かったです。水戸先生に教えていただいた遊びはこれからも是非楽しんでみてください。

6月は天気の良い日は、所庭で遊んだり散歩を楽しんだりしました。幼稚園の北玄関前が日陰になり、多少気温が高い日でも、涼しく遊ぶことができました。そこでは時折先生にシャボン玉をとばしてもらったり、歩行器を使って歩く練習をしたりもしました。戸外へ出る時には必ず帽子をかぶるように声掛けをしていますが、なかなかかぶりたがらない感覚過敏のお子さんもいるので、かぶれた時に褒めながら、今後も無理なく教えていきたいと思えます。これからの季節は、戸外遊びと共に、天候によっては水遊び(たまご組はぬるま湯遊びです)も取り入れて、心地よく過ごせるようにしたいと思います。



↑ 幼稚園北玄関前がお気に入りスポット

### ちゅうりっぷ組



↑ 散歩で満開のつつじを観賞中

天気や気温を見ながら、戸外に出て遊んだり、散歩をしたりしました。暑い日はタライでの水遊びを楽しみ、少しずつ夏の遊びも経験しました。片付けやズボンの上げ下げなど、身の回りのことも興味を持ち始めています。そばで見守りながら、自分でできることを少しずつやってみようとしています。発語も見られるようになり、自分の意思をきちんと伝えようとする意欲を感じ、成長していることに気付いて、私たちも嬉しさを感じるこの頃です。

7月も、気温の変化に注意しながら、身体を動かす遊びを楽しんだり、水遊びを楽しんだり、夏の遊びを満喫して、健康に過ごしていきたいと思えます。

## すみれ組



↑ なかなかお水がでてこないな

風船やボール遊びが大好きなすみれ組♪風船を準備すると「うわあ〜！！」ととっても喜び、たくさん体を動かして楽しんでいます。また、お友達同士のかかわりも増えてきて一緒に遊びを楽しめるようになってきました。

野菜やお花に水やりもさくら組・ひまわり組に混ぜてもらいペットボトルのじょうろでビショビショになりながら水をあげています。7月は元気に水遊びをたくさんしていきたいと思います。



## ゆい組



天気の良い日は、朝の涼しいうちに戸外に出て遊びました。ダンゴ虫探しをしたりしゃぼん玉をつかまえようと必死で追いかけていたりしていました。ゆい組の部屋にダンゴ虫ハウスを作りました。(完成して、まだ一週間!(笑))容器の中を覗き込んだり、そーっとつかまえたりしています。容器から出したダンゴ虫は、お家(容器)に戻すように話すときちんとお家に戻している優しいゆい組さんです。

← 見て!ダンゴ虫だよ!

## ひまわり組

暑くなってきたので、朝の涼しいうちに戸外へ出たり、日陰を作ったりして、快適に過ごせるようにして行きました。さくら組さんと一緒に、野菜の苗植えを行ったので、一生懸命じょうろで水やりをしている子ども達です。保育者と一緒に「おおきな〜れ!」と言って、成長を楽しみにしています。チョウの幼虫を育てたり、所庭でカエルを見つけて観察したりして、色々な生き物にも触れました。飼育ケースをじっと見て、「動いてるー!」「これ足?」などとお話しながら、集中する姿が見られましたよ。また、少しずつ、水や泥に触れる活動も始まりました。今後も、色々な感触を味わったり楽しんだりできるようにしていきたいと思います。



↑ かえるをじーっと見つめる子どもたち

## さくら組

暑い日はミストシャワーに触れたり、野菜に水やりをしたりして過ごしました。野菜や花の成長に気付いてきて「大きくなったね」「トマトの赤ちゃんだ」など発見を楽しんでいます。暑い日に所庭に水を撒くと「うわあ〜」と喜んで近づいてくる子ども達！これからどんどん暑くなってくるので、水遊びや泥んこ遊びなど夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思います。

汚れた衣服は自分たちで着替えようとする姿が見られるようになってきました。

脱ぐのは上手にできるのですが、脱いだ服をロッカーの下に置いたり、きれいな服と一緒にしまっていたり…。脱いだ衣服の片づけ方も教え自分でできるようにかかわっていききたいと思います。



↑泥んこ遊びもはじまりました

## 家庭生活ポイント「生活リズム」「あいさつ」「読書」…より

### 汗による皮膚トラブルに注意

こどもは体温の調節機能が未熟です。おとなよりも体の水分比率が高いため、汗をたくさんかくと体内の水分が失われて、熱中症の危険性が高まります。また、こどもの皮膚は全体に薄く、皮膚を守る機能も未発達のため、汗などの少しの刺激でも皮膚のトラブルを引き起こすことがあり、注意が必要です。

#### 汗かぶれ

かいた汗をそのままにしておくことで、汗に含まれる成分などにかぶれてしまうのが「汗かぶれ」です。ひどくなると化膿したり、かきこわしたりして、「とびひ」になってしまう場合があります。かゆみが強い、患部が膿を持つ、炎症の範囲が広がる時は、医療機関を受診しましょう。

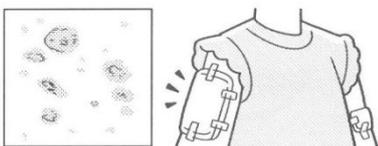


#### あせも(汗疹)

汗を出す汗管が皮膚のあかや汚れなどでふさがれて、汗が汗管の中でたまり、炎症をおこしたものです。頭や額の生え際、首やわきの下など、汗をかきやすく、かいた汗がたまりやすいところにできます。症状が軽い場合には、シャワーで汗を流し、皮膚を清潔に保つようにすると治ります。しかし、あせもの数が多い、広範囲にできている、赤みが引かない、かきむしった時などは、医療機関を受診しましょう。

#### とびひ

あせもや虫さされなどをかき壊した傷口に、黄色ブドウ球菌などの細菌に感染して水疱ができます。かゆみがあるので、かいたり衣服でこすれたりすると、水疱が破れて、中の滲出液が周りの皮膚につきます。すると、そこにも感染して水疱ができ、あちらこちらに広がります。感染力が強いため、家族や友だちなど、周囲の人にもうつってしまいます。水疱ができていたら、早めに受診しましょう。また、登所の際には、とびひの患部をガーゼで覆いましょう。



引用：少年写真新聞ほけんニュース 2024 年第 485 号